

令和元年 8 月 日

# 小規模事業者景況調査報告書

## (2019 年 4-6 月期)

福島市商工会広域連携協議会

(飯坂町商工会・松川町商工会・飯野町商工会)

(本資料のお問合せ先)

福島市商工会広域連携協議会 (松川町商工会内)

電話：024-567-2265 / F A X：024-567-2364

# 調 査 概 要

## 1. 調査対象

この調査は、福島市商工会広域連携協議会（飯坂町商工会・松川町商工会・飯野町商工会）の小規模事業者の景況を調査したものである。

### ■対象企業数及び業種別内訳

・製造業	11社	
・建設業	11社	
・卸・小売業	13社	
・サービス業	15社	合計 50社

## 2. 調査対象期間

2019年4月～2019年6月期を対象とし、調査時点は2019年6月30日とした。

## 3. 調査方法

- (1) 福島市地区内商工会の職員による訪問面接等による調査
- (2) 各商工会の会員数を勘案して地区割りを行い、調査対象企業の抽出は業種等有意選出方法による。

### 【本報告書で用いる用語の解説】

#### (1) 小規模事業者（小規模企業者）の定義

業 種	中小企業者 (下記のいずれかを満たすこと)		小規模企業者
	資本金の額又は 出資の総額	常時使用する 従業員の数	常時使用する 従業員の数
① 製造業、建設業、運送業	3億円以下	300人以下	20人以下
② その他の業種(②～④を除く)			
③ 卸売業	1億円以下	100人以下	5人以下
④ サービス業	5,000万円以下	100人以下	5人以下
⑤ 小売業	5,000万円以上	50人以下	5人以下

#### (2) DI(ディー・アイ)

Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の景況を示すいくつかの指標をアンケート調査して、その判断を指数化したもの。

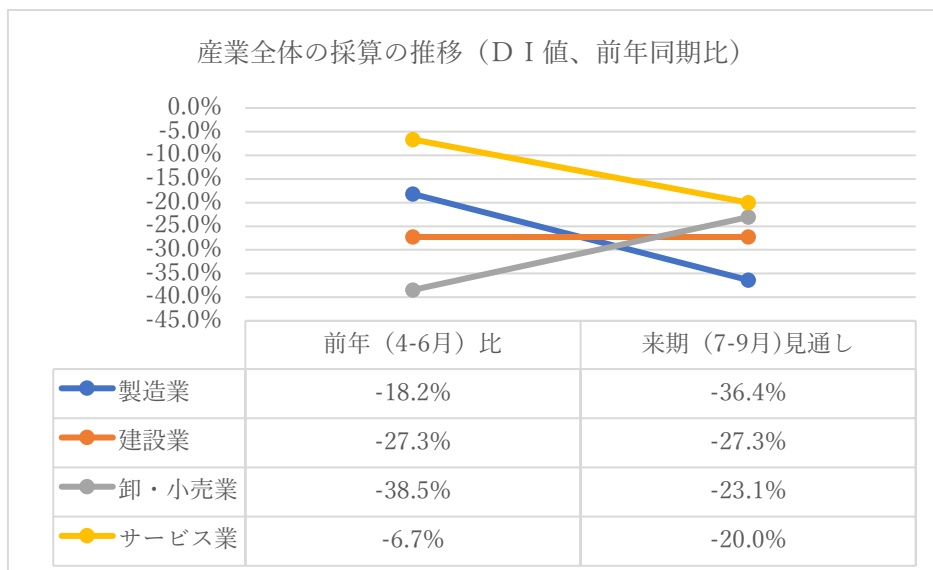
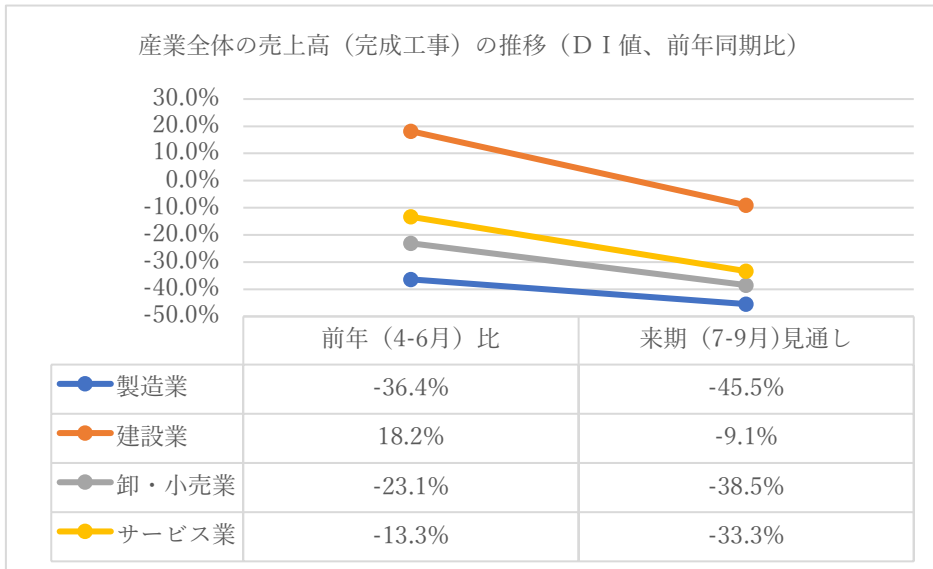
各判断項目について3個の選択肢を用い、選択肢毎の回答者数を単純計算し、増加(上昇・好転)の割合から減少(低下・悪化)の割合を差し引いた方法で算出している。

# 1. 産業全体の景況概要

福島市商工会地区における今期（2019年4月～6月期）の中小企業景況調査の結果によると、売上額（完成工事額）では製造業△36.4%ポイント、建設業 18.2%ポイント、卸・小売業△23.1%ポイント、サービス業△13.3%ポイントと、建設業以外は悪化といった景況感となった。

また、今期D I値と比較した来期（2019年7月～9月期）の見通しは、売上額（完成工事額）では、製造業（9.1%悪化）、建設業（27.3%悪化）、卸・小売業（15.4%悪化）、サービス業（20.0%悪化）と、全業種が悪化の見通しとなっている。その中でも建設業については高水準を維持しており、前述の売上高と併せて消費増税前の駆け込み需要の影響があったのではないかとと思われる。

採算においては、製造業（18.2%悪化）、サービス業（13.3%悪化）が悪化の見通しであるが、建設業は横ばいであり、卸・小売業は最終的なマイナスではあるが改善の兆しが見える。



















県内全体と福島市商工会地区のお天気マークを比較すると、売上状況においては建設業は全体的に良く、更にサービス業の実績についても良い景況感となっている。

















また、採算においては、サービス業の実績は良い景況感であるが、それ以外については来期まで雨の見通しとなっている。

### 産業全体のお天気マーク（前年同期比）

#### ■売上状況

	県内実績	福島市地区実績	県内見通し	福島市地区見通し
製 造 業	△39.3% 	△36.4% 	△27.4% 	△45.5% 
建 設 業	△5.7% 	18.2% 	△2.9% 	△9.1% 
卸・小売業	△34.5% 	△23.1% 	△41.4% 	△38.5% 
サービス業	△23.5% 	△13.3% 	△26.5% 	△33.3% 

#### ■採算状況

	県内実績	福島市地区実績	県内見通し	福島市地区見通し
製 造 業	△41.3% 	△18.2% 	△41.2% 	△36.4% 
建 設 業	△22.9% 	△27.3% 	△25.7% 	△27.3% 
卸・小売業	△36.2% 	△38.5% 	△34.5% 	△23.1% 
サービス業	△32.8% 	△6.7% 	△21.9% 	△20.0% 

<お天気マークの説明>

<マークは各指標のDI値を表す>

+15%以上



晴

-5%~-14.9%



小雨

+5%~+14.9%



薄日

-15%~49.9%



雨

±4.9%



曇

-50%以下

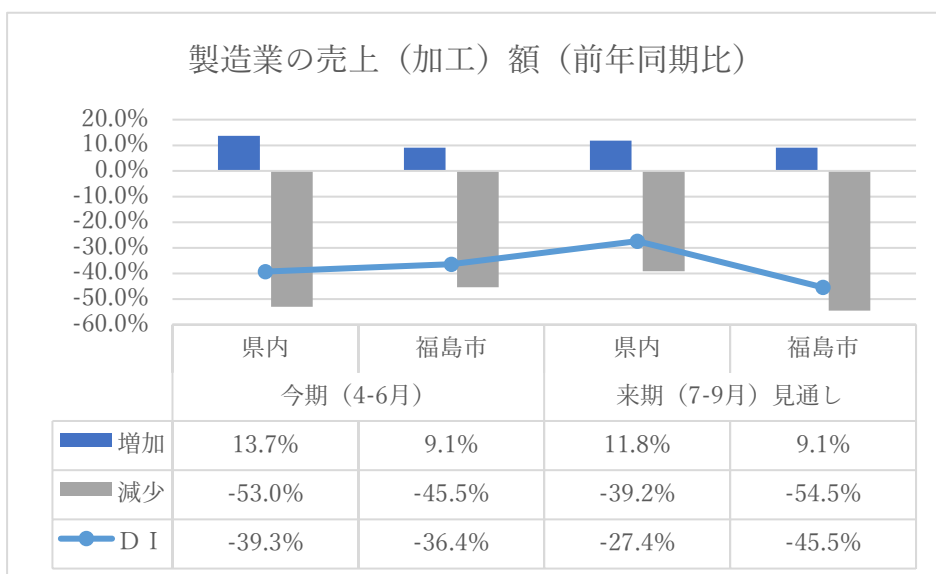
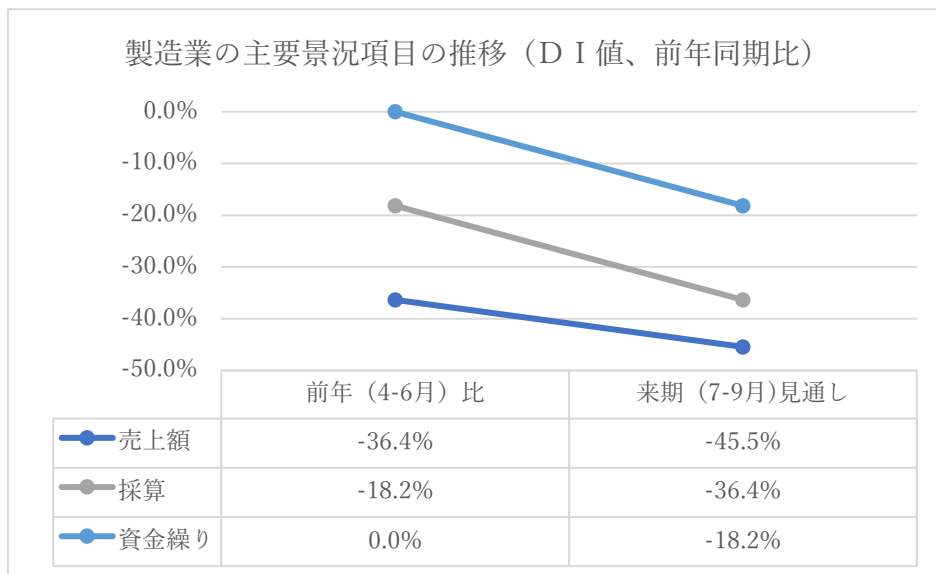


大雨

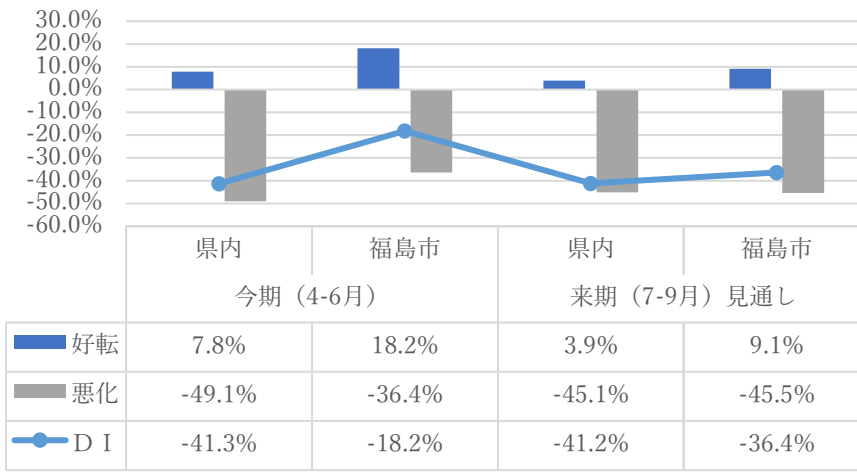
## 2. 製造業

今期（2019年4月～6月期）のDI値は、売上（加工）額△36.4%、採算△18.2%、資金繰り0.0%と、資金繰りにおいてはプラスマイナスゼロの数値となった。

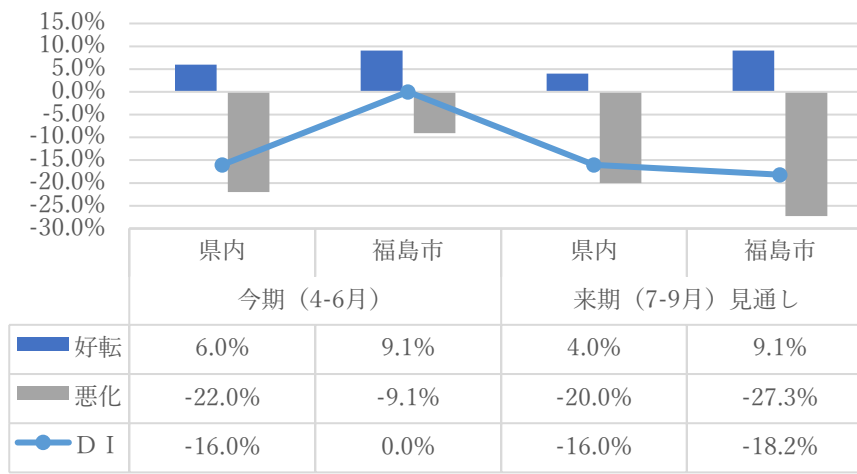
来期（2019年7月～9月期）の見通しDI値は、今期DI値と比較して、売上（加工）額△45.5%（9.1%の悪化）、採算△36.4%（18.2%の悪化）、資金繰り△18.2%（18.2%の悪化）と全ての項目において悪化の見通しとなっている。



### 製造業の採算の状況（前年同期比）



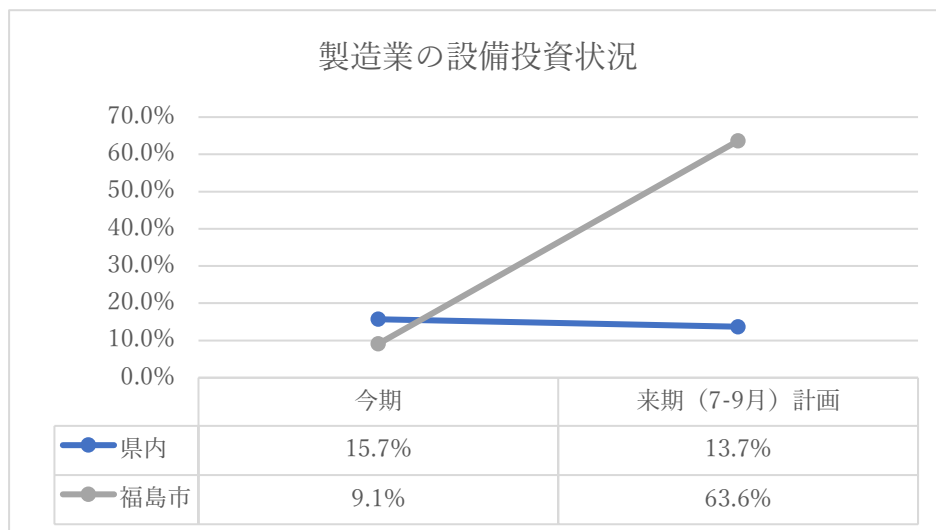
### 製造業の資金繰りの状況（前年同期比）



今期の設備投資実施企業は、9.1%（1社）となった。投資内容では、その1社において土地、付帯設備、OA機器、その他の導入となっている。

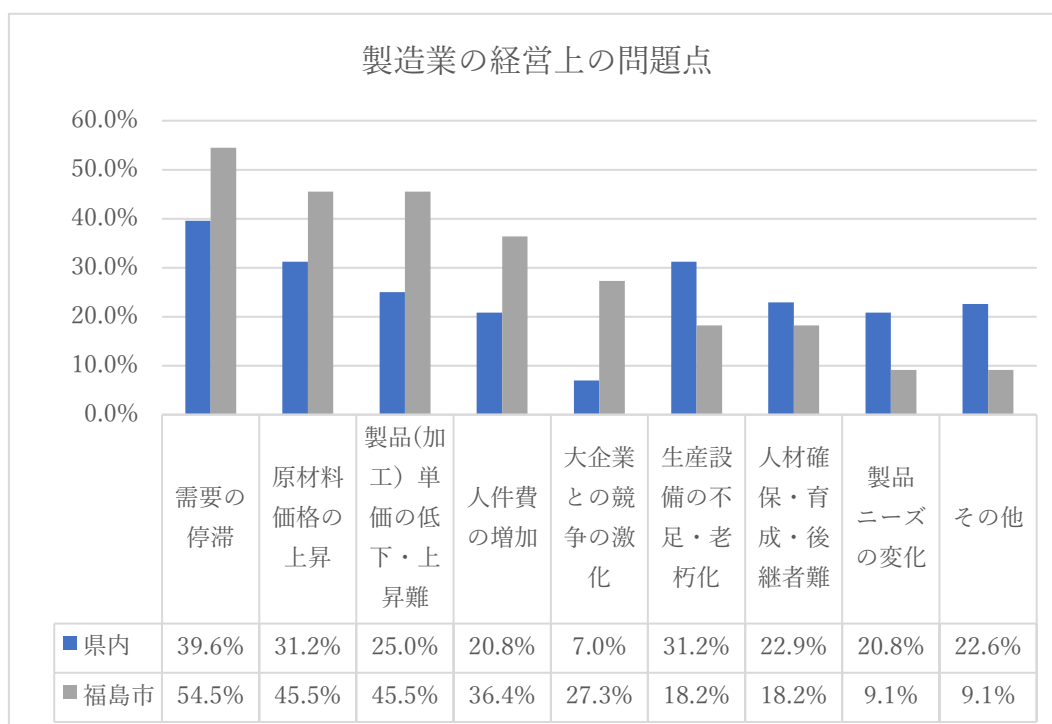
また、来期に設備投資を計画している企業は63.6%（7社）であり、今期実績から54.5%（6社）増加している。

なお、計画している投資内容は生産設備4社、車両運搬具2社、建物・OA機器・その他が各1社となっている。



企業が第1位～3位まで挙げた問題点の合計は、「需要の停滞」が54.5%、「原材料価格の上昇」と「製品(加工)単価の低下・上昇難」がそれぞれ45.5%と高い数値となっている。

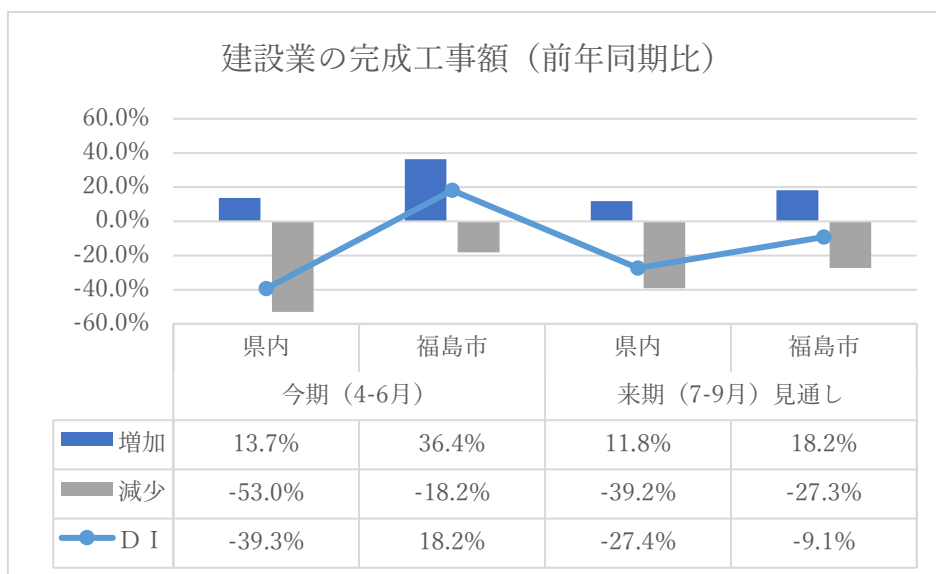
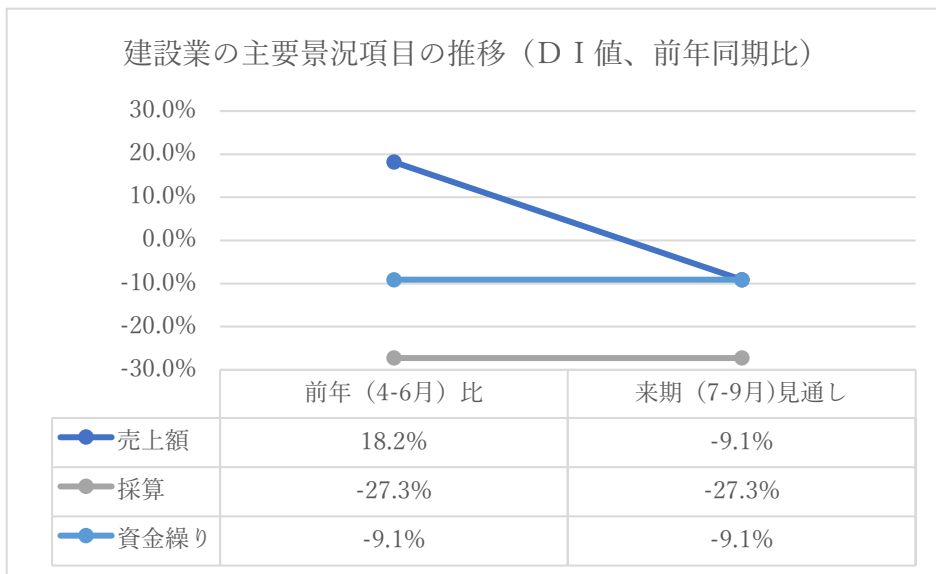
県内全体と比較すると、「生産設備の不足・老朽化」、「人材確保・育成・後継者難」、「製品ニーズの変化」が低い一方、「人件費の増加」や「大企業との競争の激化」といった課題の割合の差が大きい。



### 3. 建設業

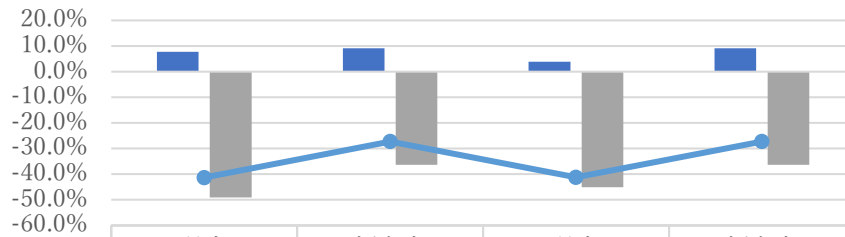
今期（2019年4月～6月期）のDI値は、完成工事額18.2%、採算△27.3%、資金繰り△9.1%と、完成工事額においてはプラスの値となった。

来期（2019年7月～9月期）の見通しDI値は、今期DI値と比較して、完成工事額△9.1%（27.3%の悪化）、採算△27.3%（変動なし）、資金繰り△9.1%（変動なし）と完成工事額は大きく悪化した。採算・資金繰りは横ばいの見通しとなっている。



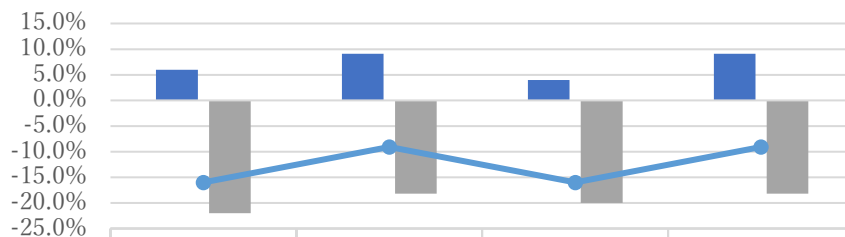


### 建設業の採算の状況（前年同期比）



	県内 今期（4-6月）	福島市 今期（4-6月）	県内 来期（7-9月）見通し	福島市 来期（7-9月）見通し
■ 好転	7.8%	9.1%	3.9%	9.1%
■ 悪化	-49.1%	-36.4%	-45.1%	-36.4%
● D I	-41.3%	-27.3%	-41.2%	-27.3%

### 建設業の資金繰りの状況（前年同期比）

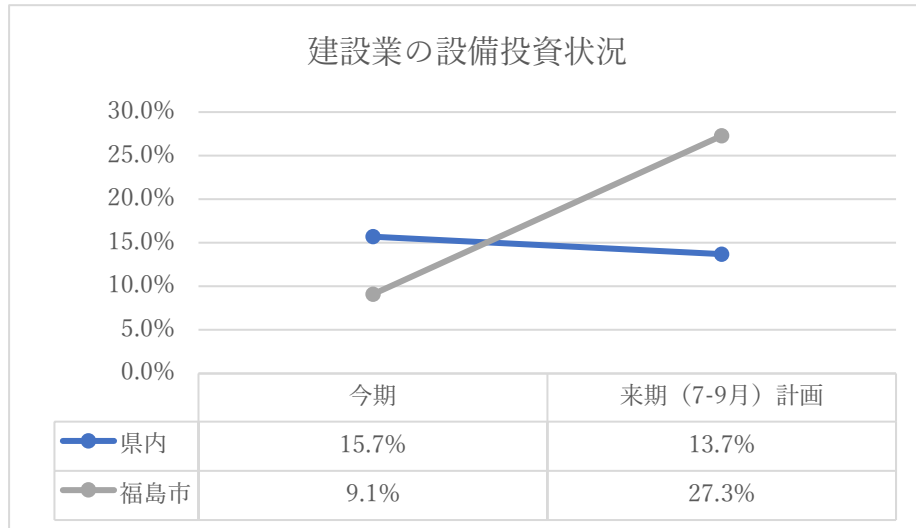


	県内 今期（4-6月）	福島市 今期（4-6月）	県内 来期（7-9月）見通し	福島市 来期（7-9月）見通し
■ 好転	6.0%	9.1%	4.0%	9.1%
■ 悪化	-22.0%	-18.2%	-20.0%	-18.2%
● D I	-16.0%	-9.1%	-16.0%	-9.1%

今期の設備投資実施企業は、9.1%（1社）となった。投資内容では、その他の導入となっている。

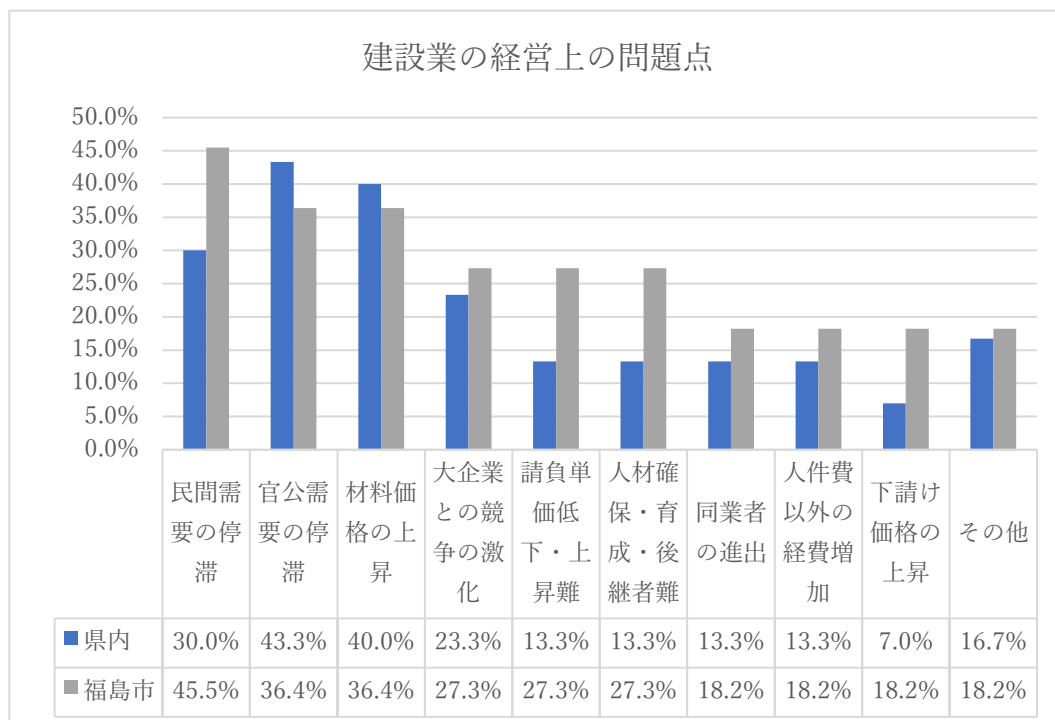
また、来期に設備投資を計画している企業は27.3%（3社）であり、今期実績から18.2%（2社）増加している。

なお、計画している投資内容は車両運搬具2社、建設機械が1社となっている。



企業が第1位～3位まで挙げた問題点の合計は、「民間需要の停滞」が45.5%、「官公需要の停滞」と「材料価格の上昇」がそれぞれ36.4%となっている。

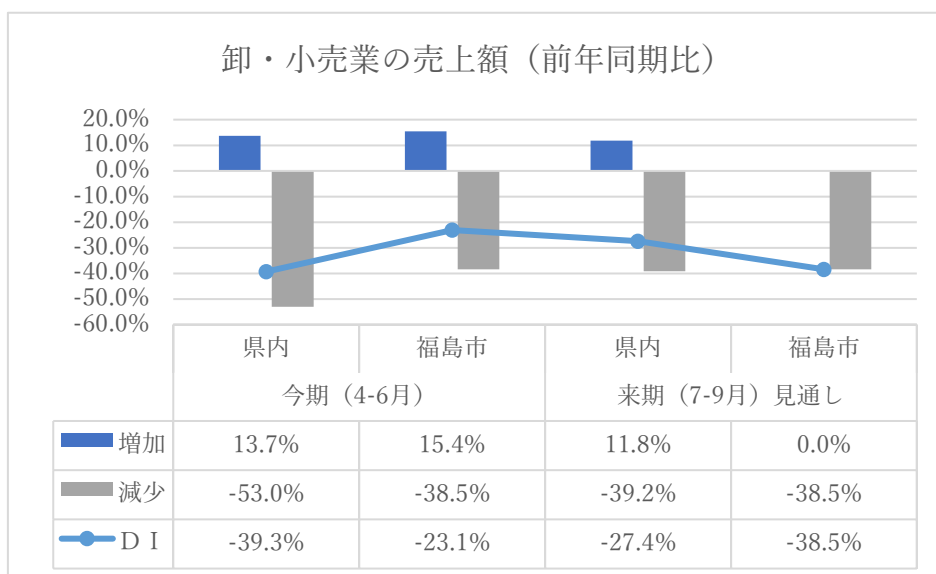
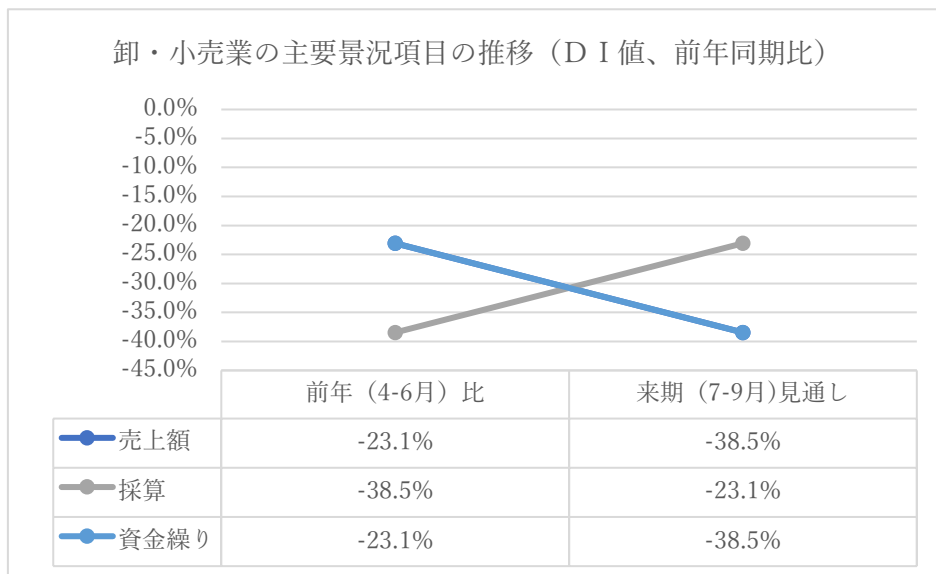
県内全体と比較すると、「官公需要の停滞」が低い一方、「大企業との競争の激化」や「請負単価低下・上昇難」、「人材確保・育成・後継者難」といった課題を抱える割合が大きい。



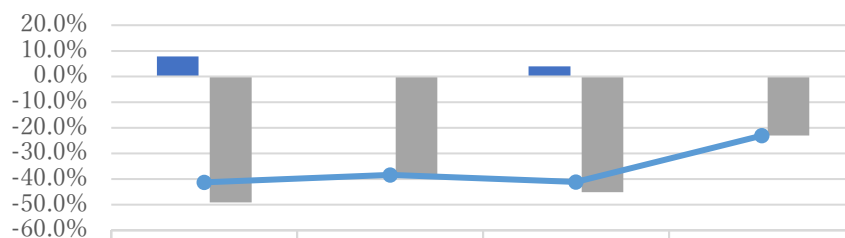
## 4. 卸・小売業

今期（2019年4月～6月期）のDI値は、売上高△23.1%、採算△38.5%、資金繰り△23.1%と、全ての項目でマイナスの値となった。

来期（2019年7月～9月期）の見通しDI値は、今期DI値と比較して、売上高△38.5%（15.4%の悪化）、採算△23.1%（15.4%の改善）、資金繰り△38.5%（15.4%の悪化）と採算は改善がみられるが全ての項目で悪化の見通しである。

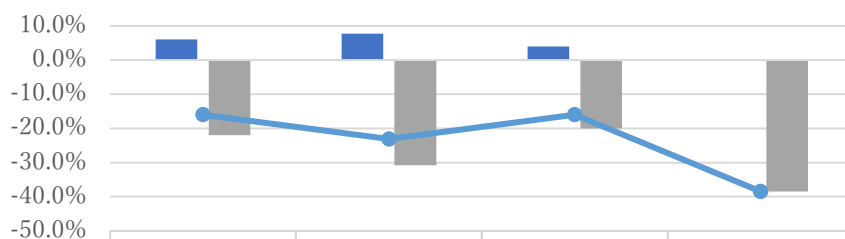


### 卸・小売業の採算の状況（前年同期比）



	県内 今期（4-6月）	福島市 今期（4-6月）	県内 来期（7-9月）見通し	福島市 来期（7-9月）見通し
■ 好転	7.8%	0.0%	3.9%	0.0%
■ 悪化	-49.1%	-38.5%	-45.1%	-23.1%
● D I	-41.3%	-38.5%	-41.2%	-23.1%

### 卸・小売業の資金繰りの状況（前年同期比）

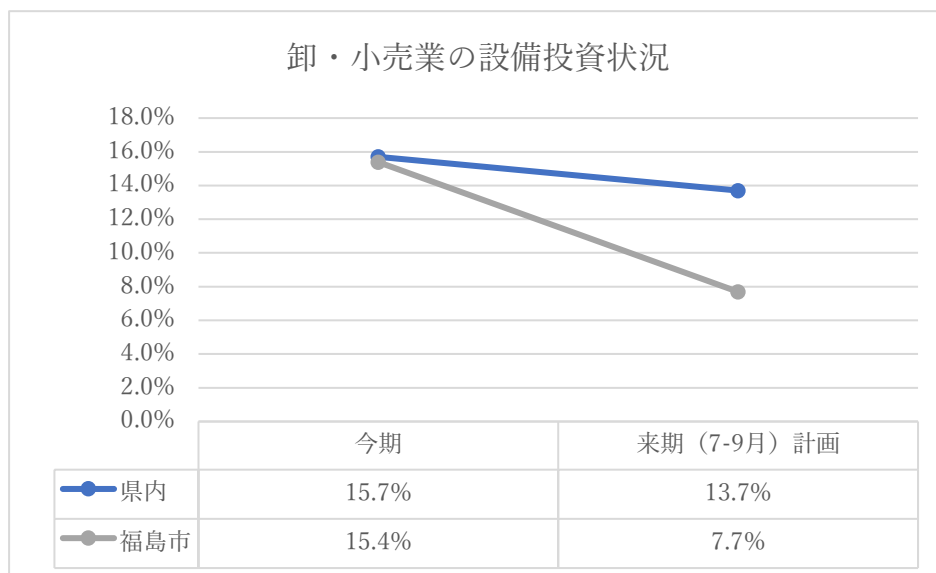


	県内 今期（4-6月）	福島市 今期（4-6月）	県内 来期（7-9月）見通し	福島市 来期（7-9月）見通し
■ 好転	6.0%	7.7%	4.0%	0.0%
■ 悪化	-22.0%	-30.8%	-20.0%	-38.5%
● D I	-16.0%	-23.1%	-16.0%	-38.5%

今期の設備投資実施企業は、15.4%（2社）となった。投資内容では、販売設備と付帯設備の導入となっている。

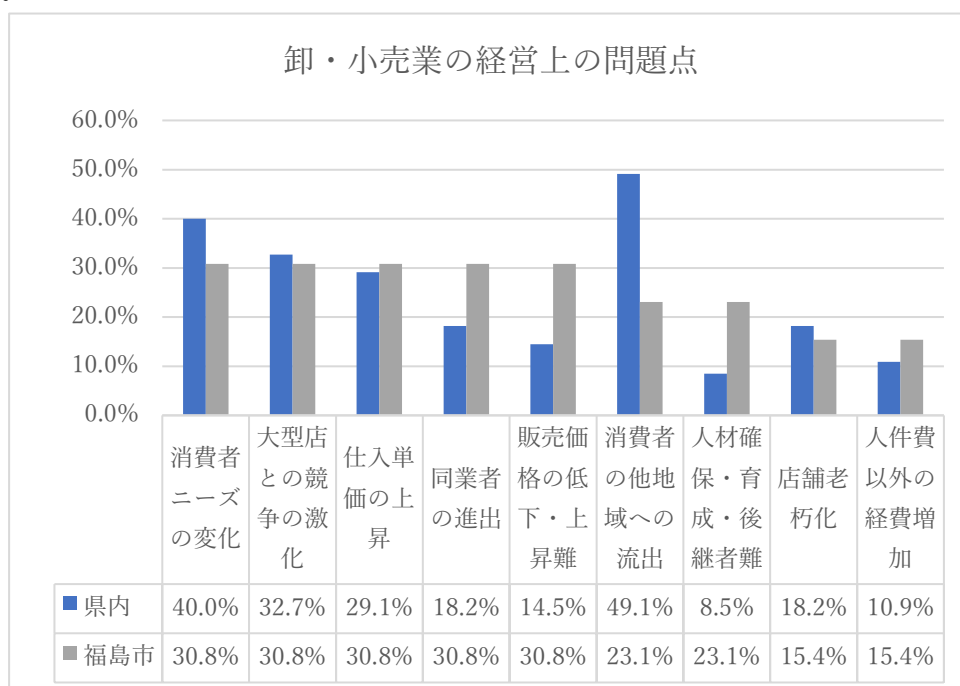
また、来期に設備投資を計画している企業は7.7%（1社）であり、今期実績から7.7%（1社）減少している。

なお、計画している投資内容は販売設備となっている。



企業が第1位～3位まで挙げた問題点の合計は、「消費者ニーズの変化」、「大型店との競争の激化」、「仕入単価の上昇」、「同業者の進出」、「販売価格の低下・上昇難」がそれぞれ30.8%、「消費者の他地域への流出」と「人材確保・育成・後継者難」が23.1%となっている。

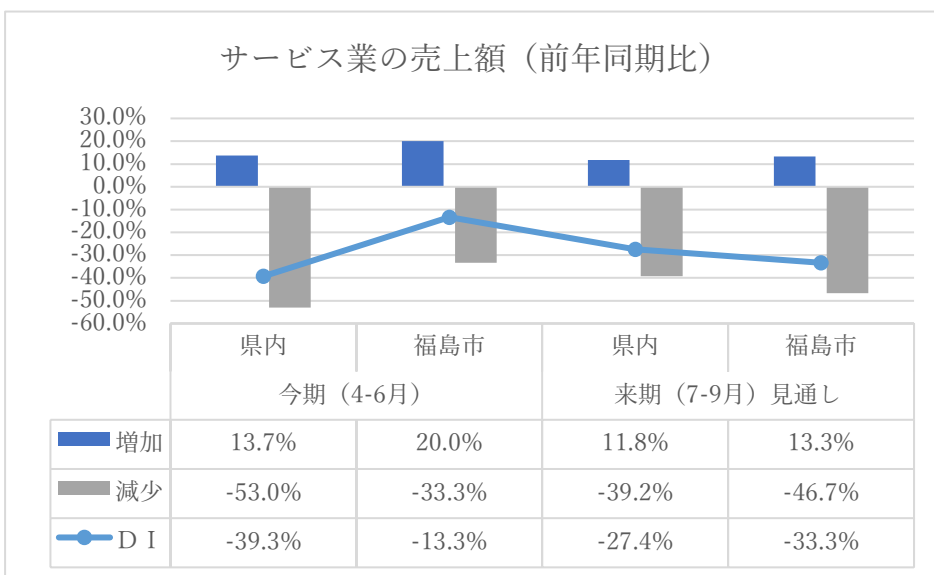
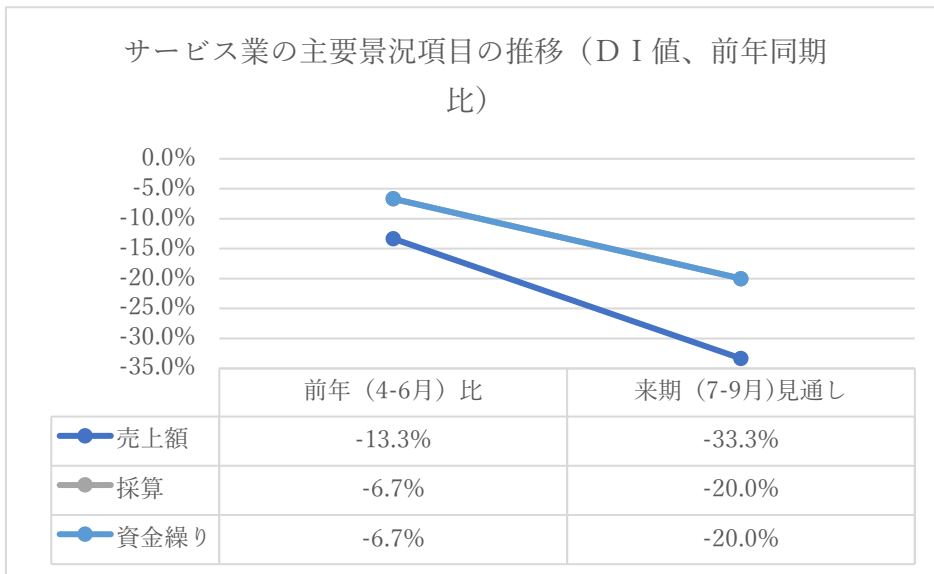
県内全体と比較すると、「消費者の他地域への流出」や「消費者ニーズの変化」が低い一方、「販売価格の低下・上昇難」、「人材確保・育成・後継者難」といった課題を抱える割合が大きい。



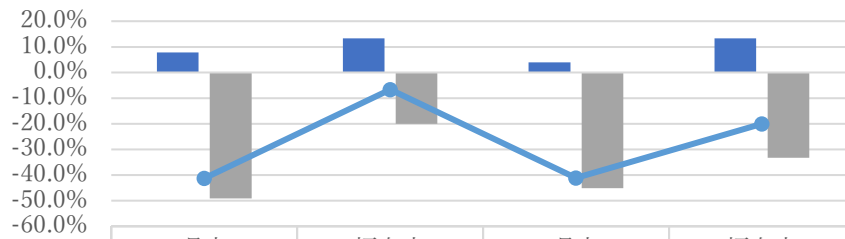
## 5. サービス業

今期（2019年4月～6月期）のDI値は、売上高△13.3%、採算△6.7%、資金繰り△6.7%と、全ての項目でマイナスの値となった。

来期（2019年7月～9月期）の見通しDI値は、今期DI値と比較して、売上高△33.3%（20.0%の悪化）、採算△20.0%（13.3%の悪化）、資金繰り△20.0%（13.3%の悪化）と全ての項目において悪化の見通しである。

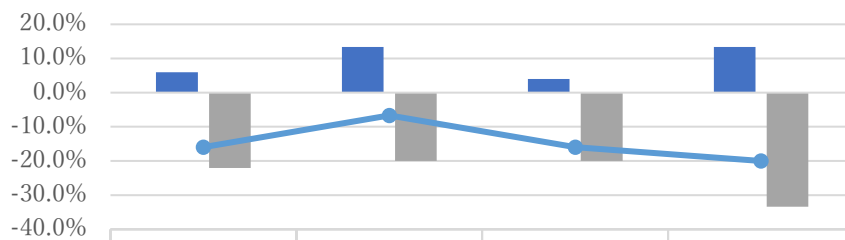


### サービス業の採算の状況（前年同期比）



	県内 今期（4-6月）	福島市 今期（4-6月）	県内 来期（7-9月）見通し	福島市 来期（7-9月）見通し
■ 好転	7.8%	13.3%	3.9%	13.3%
■ 悪化	-49.1%	-20.0%	-45.1%	-33.3%
● D I	-41.3%	-6.7%	-41.2%	-20.0%

### サービス業の資金繰りの状況（前年同期比）

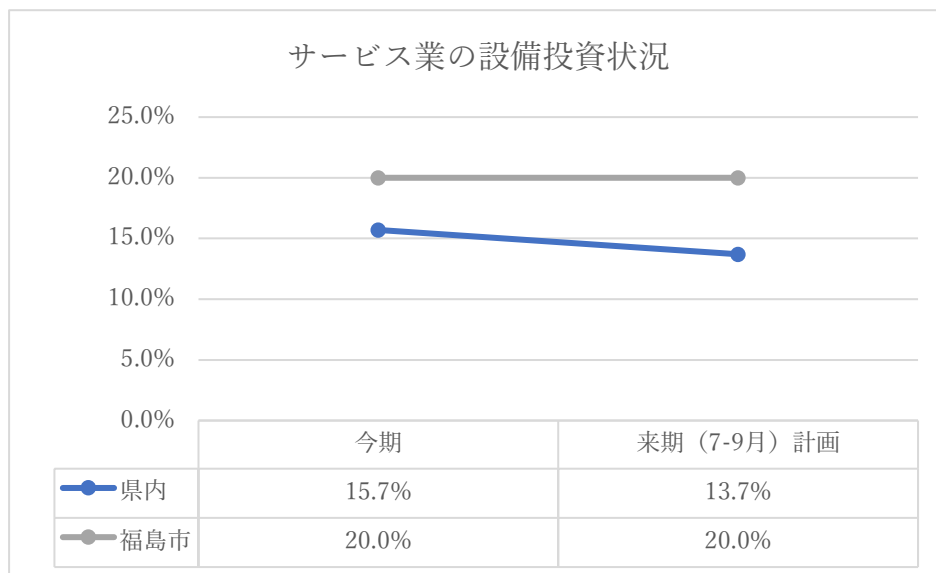


	県内 今期（4-6月）	福島市 今期（4-6月）	県内 来期（7-9月）見通し	福島市 来期（7-9月）見通し
■ 好転	6.0%	13.3%	4.0%	13.3%
■ 悪化	-22.0%	-20.0%	-20.0%	-33.3%
● D I	-16.0%	-6.7%	-16.0%	-20.0%

今期の設備投資実施企業は、20.0%（3社）となった。投資内容では、サービス設備、車両運搬具、付帯設備、その他の導入となっている。

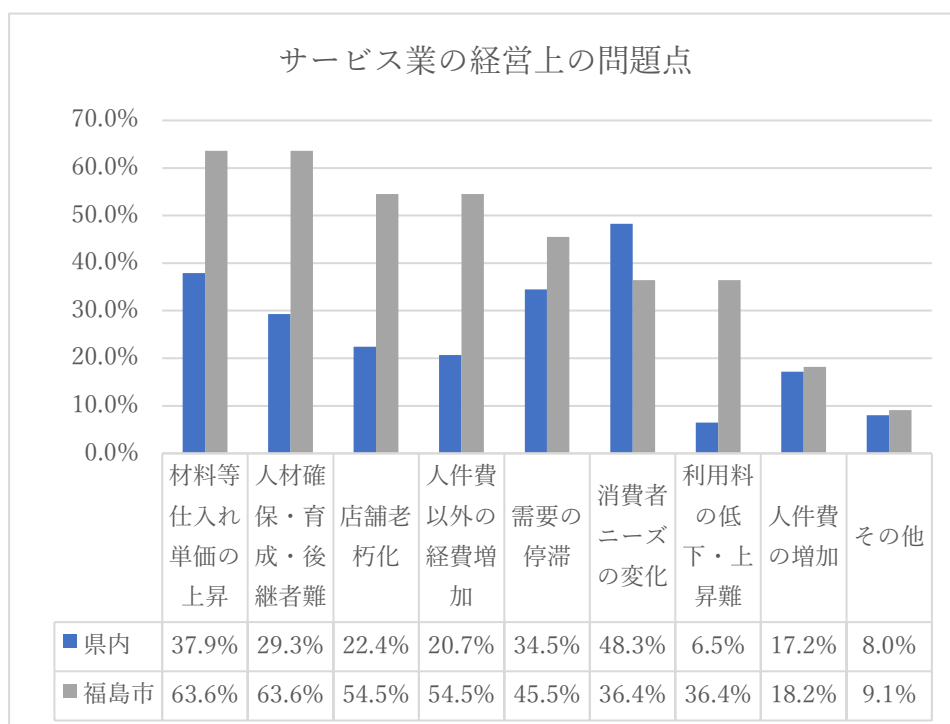
また、来期に設備投資を計画している企業は20.0%（3社）であり、今期実績から変動なしの横ばいとなっている。

なお、計画している投資内容は建物・サービス設備が各2社、車両運搬具が1社となっている。



企業が第1位～3位まで挙げた問題点の合計は、「材料等仕入れ単価の上昇」、「人材確保・育成・後継者難」が63.6%と高水準であり、「店舗老朽化」、「人件費以外の経費増加」が次いで高い。

県内全体と比較すると、「消費者ニーズの変化」が低い一方、「材料等仕入れ単価の上昇」、「人材確保・育成・後継者難」、「店舗老朽化」、「利用料の低下・上昇難」といった課題を抱える割合が高くなっている。





## ■業況判断の背景

### ●製造業

#### <前向きな意見>

・主要取引先で工場の統廃合が行われており、新規物件の引き合いが少なくなっている。今年中には完結する予定なので、その後の動きに期待したい。また、米中貿易戦争が早期決着されることを望みます。

#### <厳しい意見>

・冷蔵庫が壊れたため借入れをして購入（リース）予定だが、追加融資ができるか不安である。  
・厚生年金や社会保険の事業主負担分が大きく、全従業員の加入が難しい。  
・米中貿易戦争の影響を予測して微妙な舵取りを行ったことで、今のところは大きな影響は受けていない。しかし、米国も中国も日本等周辺国も過熱すれば我々のような末端にまで影響が来ると想定している。

#### <その他>

・7/1 人事異動のため、通常業務に追加業務が加わり仕事が立て込んでいる。

### ●建設業

#### <厳しい意見>

・新築工事が無くなった（既製品が出ているので塗装工事が無くなった）  
・中小企業に対する税金が大きすぎる。個人事業主は国民健康保険、個人事業税と最大に税金がかかりすぎる。  
・震災復興の需要がピークを過ぎてしまい、仕事が減っている。  
・2020年オリンピックがあり、物流が滞ることが予想される。そのため、ピーク期間は暇になると予想される。（G20が大阪で開催された際も物流が滞って暇になった）  
・昨年に比べ売り上げが減少。7月以降も先が見えず不安。  
・月によって差が激しい。年によっては劇的に売り上げが変わることがある。  
・公共事業・民間事業によって請負金額が異なり、工期によって売上が変わる為コンスタントにある仕事ではない。

#### <その他>

・増税前だがあまり変化なし（駆け込み需要は特になし）  
・年の平均売上が上がっても3ヶ月基準にすると判断できない。建設業は3ヶ月比較は難しいと思われる。  
・工期が終わらないと売上計上できないため比較できない部分が多い。

## ●卸・小売業

### <厳しい意見>

- ・金物雑貨の小売・卸売の状況が苦しくなっている。
- ・人がいない。(イベント時にはそれなりに歩いている)
- ・年々飯坂に来る人が減っているため売り上げも減少傾向にある。
- ・最近の傾向として、葬儀の縮小化(家族葬が増加)により法事も簡素化になってきたと思う。仏事の売上増加が難しい。
- ・顧客が高齢化のため、今後売り上げの減少が懸念される。

## ●サービス業

### <前向きな意見>

- ・お店の現状として粗利率も純利益もある程度確保できている。
- ・店舗を新築した際の借入も今年中には完済することから、資金繰り面でも少しは余裕ができる。
- ・事業主の年齢が高齢化し、当面は設備投資は考えていないが、後継者がいるため、事業を継いだ後に事業展開をしていけるようにしたい。
- ・2020年オリンピックに向け、観光客が増えることを願っている。
- ・ゴールデンウィークの観光客が多く売上が上がった。

### <厳しい意見>

- ・仕入価格が上昇するため収入が下がる。
- ・仕事でパソコンが必需品だが、維持費や修理にお金がかかる。
- ・働く時間を減らすためには人を増やして穴を埋めるか、少人数でも対応できるようなシステムを構築するかのどちらかを選択しなくてはならないが、どちらも厳しい状況の中、時間だけが経過している感じがします。
- ・なかなか新規のお客様が無く、お客様の年齢も高くなり来店の間隔も延びてきた。町の活気も無く人も歩かない。
- ・顧客の高齢化に伴い、今後の売上の減少が懸念される。
- ・消費税増税に併せて価格の見直しを計画しているが、価格上昇による売上への影響が心配。
- ・値切ってくる人もいて、断れないことがある。
- ・ガソリン代などの経費は高くなっていくが、比例して売上に上乘せができないため厳しい。

### <その他>

- ・電気自動車やハイブリッド車に対応した投資をするかどうか悩んでいる。